

(前頁記事より)引用・参考文献

- 1)地図情報ねりまっぶ>各種資料>陰影図
- 2)練馬区公式ホームページ>区政情報>区の概要>練馬区のあらまし>地勢
- 3)降水量のデータは気象庁>練馬観測地点を使用

...

☆定例活動報告と放射線測定は、紙面の都合により次号に掲載いたします。

水辺の会設立20周年記念文集 発行のお知らせ

多くの会員から原稿をお寄せいただき、このたび記念文集“おらが川・おらが村”の発行に漕ぎ着けることができました。

人それぞれ、様々な“川への想い”を通し、白子川への関心が拡がり、深まれば幸いです。

お忙しい中、ご寄稿いただきありがとうございますございました。

なお、追加で文集がご入用の場合には、1冊500円でお付けしますので、お申し出ください。会の活動資金とさせていただきます。



1月~4月 活動記録

- 1/16(日) WE LOVE 白子川の会
- 22(土) web運営会議
- 23(日) 定例活動はコロナにより中止
- 月末 会報64号発行

- 2/12(土) web“源流の森”研究会
- 20(日) WE LOVE 白子川の会
- 26(土) web運営会議
- 27(日) 定例活動(自主参加)
- 月末 白子川でクイナが確認された



- 3/5(土) みどり広場のカエル池清掃
- 9(水) 泉新小5年生16名の白子川Q&Aサポート

中旬~下旬 練馬区による井頭池西護岸の亀裂補修

編集後記

コロナの猛威はとどまることを知らず、新たな変異株となって世界中に広がっている。日本においても、3月下旬に蔓延防止措置が解除された後、高止まりの傾向がみられ、新年度とともにリバウンドから第7波の到来も危惧されている。

いったい何波来たら収まるのだろうか？ それともウィルスは変異を繰り返しながらずっと居座るのだろうか。まさに、コロナと共に生きる<ウィズコロナ>時代の到来である。本会の活動も、自主参加となったりオンラインになったりを余儀なくされた。ウィズコロナ時代に応じながら工夫をこらして、さらに発展させたいものである。(高)

- 12(土) web“源流の森”研究会
- 20(日) WE LOVE 白子川の会
- 21(月) 設立20周年記念文集刊行
- 24(木) 練馬区道路公園課公園係を訪問
- 26(土) web運営会議
- 27(日) 定例活動

- 4/9(土) web“源流の森”研究会
- 17(日) WE LOVE 白子川の会
- 23(土) web運営会議
- 24(日) 定例活動

5月~8月 これからの主な活動予定

*毎月第3日曜日に WE LOVE 白子川の会を、毎月第4日曜日に定例活動(“川を楽しむコーナー”併設)を、予定しています。
(定例活動は井頭公園で13時半から。どなたでも参加できますが、新型コロナウイルスの感染状況により、自粛または縮小する場合があります。)

~第22回定期総会(書面決議)のお知らせ~

例年6月に開催している定期総会について、2022年についても昨年同様、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から書面決議とします。

つきましては、「第22回定期総会資料」をお読みいただき、「書面表決書(官製葉書)」にご署名及び各議案への賛否をご記入の上、6月19日(日)までにご提出(投函)をお願いします。

なお、詳細は、同封の「第22回定期総会の開催(書面決議)について」をご覧ください。

発行 白子川源流・水辺の会
<https://shirakogawa.tokyo/>
 編集 小川 郁/喜多 浩子/高宮 信三郎/
 永井 薫/日高 美南子/松岡 直子
 題字 宮本 沙海
 発行部数 1,200部
 共同代表 岡崎 一成 / 菅沢 博
 事務局 練馬区南大泉1-10-5
 03-3923-8430 菅沢 博



※この会報は年3回発行しています

シリーズ 水辺の鳥たち

◆シジュウカラ

シジュウカラ(四十雀)は鳴き声を組み合わせる文を作る能力があると近年注目の鳥です。一年を通してどこでも見られ、井頭公園でもエナガやコゲラ、メジロと集団行動しています。撮影したのは春の子育ての頃で、この時は4羽巣立ち、数週間以上、親子で行動していました。写真は巣立ちの4日後、マルバヤナギ下のトウネズミモチ枝上での給餌場面。

(2020年5月7日、新居和夫)



2022年5月 第65号
「白子川源流・水辺の会」会報紙

白子川の不思議

—2022年冬—

白子川の源流域は、行政区画を無視するかのようには練馬区の東大泉、南大泉、西大泉、さらには西東京市にわたり大地の凹凸に従って水を集めています。

川と林、川と畑、川と住宅地、川と空地、川と人の行為等との関係を乗り越えて流れています。その壮大さ複雑さは私には知る由もありませんが、この冬、目にした出来事は驚きの連続でした。

<大型野鳥の死とクイナの出現>井頭橋の上流端では、1月から3月にかけてコサギ2羽、ゴイサギ1羽が死に、比丘尼の白子川でもコサギ1羽が死んだそうです。短期間にこれだけの死は不思議です。

2月下旬には、白子川で野鳥を撮影されている方から「クイナの撮影に成功した!」と興奮気味の電話が入りました。クイナの生息域は主に東北・北海道のようですが、近年は関東地方での繁殖も確認されているとか。「なんで白子川に?」と関係者は異口同音に。

<ナゾのカエル>当会では、1つの水源を共有する井

頭で活動している「みどり広場管理委員会」との共同で、去年3月に広場の竹林にアズマヒキガエルのための「カエル池」を設置しました。が今年、産卵が近づいた3月に池を清掃したところ、ナント!別のカエルが7匹も棲みついていた。どこから? どうやって? どのように生きているの? やら。

<枯れた葦>葦は水質浄化力だけではなく、野鳥や昆虫の貴重な隠れ家でもあります。源流では2カ所のコンクリート蓋の間に群落し、火の橋と松殿橋の間にも生えています。そこにやってくるウグイスは、囀るまでのチッチッチという地鳴きは地味ですが、姿は葦によく似合います。

夏になったら白子川の葦笛を吹きたい。

(菅沢 博)



葦は枯れて隠れ家に



リレー連載 川でつながる仲間たち < 3 >

白子川と流域の水環境を良くする会

荒井大介



※当会主催の講演会『白子川流域に棲む生き物』(2022/2/19)の様子はこちらから
<https://www.youtube.com/watch?v=f11E7bdzPHw>



当会は2001年に発足し、今年で設立20年を迎えました。活動の中心は、練馬区と和光市の境界で、白子川にかかる芝屋橋と向山橋の間に2011年に水辺再生100プランで整備された向山親水公園、通称「わくわくパーク」です。この名は2014年に和光市立第五小学校の生徒達が付けてくれました。

当会は毎月第4週の土曜日に「川の国応援団(埼玉県との制度)」として清掃・美化を行っています。これらの活動を通じて水や生物と親しむことができ、水際に近づける場所を維持しています。川掃除をしていると学童クラブの子供や通りがかった親子がのぞきにきて、にぎやかにチョウチョやバッタを追いかけたり、池の中のエビを採ったり楽しそうに遊んでいます。この川掃除の様子は写真とわかりやすい文章で毎月の報告として門扉に提示し、近隣の主だった方へも届けています。

川の中にはアブラハヤ、オイカワ、カワムツ、タモロコ、ドジョウ、ウキゴリ、ヨシノボリ、モクズガニ、スッポンなどが見られます。板橋区と和光市の境界の東崎橋にある大きな堰が、下流からアユなどがのぼってくるのを邪魔していますが、2014年から5月に、荒川にのぼってきたアユを特別採捕している漁協から配布してもらい、試験的にわくわくパーク周辺に放流しています。毎年、大きく育ち11月ぐらいまで観察出来ます。

しかし、この2年コロナ禍で様々な活動に影響があり、人を集めたアユ放流体験はできていません。ウィズコロナという新たな社会ニーズも生じています。そこで、身近な地域の自然を守る活動や生物調査の報告とともに、水中動画で情報発信して生物観察等の疑似体験が出来るように努めています。こうした試みが地域の水環境を保全する意識の醸成につながることを期待して。また、会員も募集をしていますので、一緒にわくわくパークで遊びたいという方、ぜひご連絡ください。(あらい だいすけ・会長)

白子川の源流部における降雨と井戸水位変動との関係

望月 孝

*本稿は会の20周年記念文集の資料として纏められたものですが、文集には紙面の制約で一部しか掲載できなかったため、改めて全文を再掲します。



図-1 陰影図

はじめに

練馬区は武蔵野台地の北縁に位置しており、ほとんど高低差のないなだらかな地形をしている。調査地点の地は、図1の陰影図に描かれた2m毎の等高線からも分かるように白子川に向かって地形面が低くなっている。地層は、上部に関東ローム層やローム質粘土層、下部に礫を多く含んだ透水性の高い武蔵野礫層から構成されている。

当会の活動において、冬場から春先にかけて白子川の起点にある井頭池がしばしば水枯れする現象が見受けられる。湧水量の減少や地下水位の低下等が要因と考えられ、降水量との関連を調べることを目的に井戸の水位測定を行った。

地下水の観測方法

水位測定は、白子川の源流部と井頭の森緑地内に設置されている観測井戸を利用し、定例活動時にメジャーの先端に

センサーがついたロープ式水位計を用いて実施した。この測定器はセンサーに水が触れるとブザー音が鳴るという原理で、これを井戸に垂らし地下水面までの距離を測った。

結果と考察

今回は観測回数の多い源流部の井戸データを用いて降水量と水位の関係を図2に整理した。結果は回帰式の傾きがR2=0.8394と降水量と水位との間に強い相関関係がみられた。地下水は特に降雨の影響を強く受け、梅雨期から台風期に水位が高く、冬場は水位が低いという傾向がみられた。

また井戸の平均水位は、①大泉井頭公園付近(H=41.71m)②井頭の森緑地内(H=42.70m)だった(表1)。この2地点

表-1 測定結果の井戸水位標高(m)

①大泉井頭公園付近(m)

月	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	月平均	
1月		41.55	41.50	41.25	41.58	41.39	41.49	41.46	
2月		41.36	41.42	41.14	41.60	41.36	41.46	41.39	
3月		41.46	41.88	41.42	41.58	41.47	41.54	41.56	
4月		41.56	41.73	41.21	42.08	41.53		41.62	
5月		41.36	41.72	41.51	41.79	41.35		41.55	
6月		41.38	41.78	41.90	41.86	41.52		41.69	
7月	42.44	41.48	41.62	41.85	42.08	41.84		41.89	
8月	42.74	41.92	41.63	41.82	41.75	42.14		41.97	
9月	42.54	41.91	41.90	41.82	41.71	41.79		41.95	
10月	41.78	42.67	41.75	42.88	41.88	41.76		42.12	
11月	41.77	41.85	41.52	42.11	41.60	41.63		41.75	
12月	41.71	41.58	41.44	41.89	41.45	41.67		41.59	
								平均水位⇒	41.71

②井頭の森緑地内(m)

月	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	月平均	
1月			42.32	42.04	42.43	42.18	42.34	42.26	
2月		42.18	42.23	41.92	42.47	42.15	42.28	42.21	
3月		42.26	43.06	42.21	42.41	42.28	42.40	42.44	
4月		42.42	42.64	41.99	43.49	42.34		42.58	
5月		42.15	42.05	42.32	42.85	42.14		42.42	
6月		42.19	42.74	43.03	43.05	42.39		42.68	
7月	43.00	42.29	42.51	42.97	43.51	42.95		42.87	
8月	43.77	43.04	42.53	42.53	42.78	43.55		43.03	
9月		43.04	43.04	42.90	42.74	43.44		43.03	
10月		44.58	42.69	45.05	43.10	42.81		43.65	
11月		42.92	42.36	43.47	42.50	42.53		42.76	
12月		42.46	42.25	42.65	42.27	42.65		42.46	
								平均水位⇒	42.70

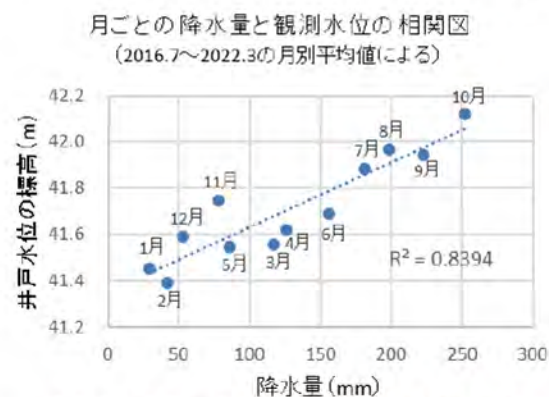


図-2 平均降水量と平均水位の相関関係

表-2 観測間の累計降水量集計表(mm)

月	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	月平均
1月		35.0	47.0	0.0	56.5	18.5	16.5	28.9
2月		13.0	13.0	23.5	76.0	74.5	52.0	42.0
3月		83.0	250.0	131.0	56.5	106.5	76.5	117.3
4月		94.5	82.0	68.0	264.5	119.5		125.7
5月		50.0	129.0	110.0	89.0	52.5		86.1
6月		64.0	124.0	213.0	190.0	192.0		156.6
7月	168.0	108.0	93.0	188.0	242.5	284.5		180.7
8月	324.0	250.5	159.5	75.0	111.5	272.0		198.8
9月	321.0	170.5	249.0	183.0	150.0	261.0		222.4
10月	37.0	456.5	169.0	532.5	196.5	122.0		252.3
11月	119.0	105.0	35.5	106.0	6.5	93.5		77.6
12月	80.5	24.0	41.5	31.0	8.5	134.5		53.3

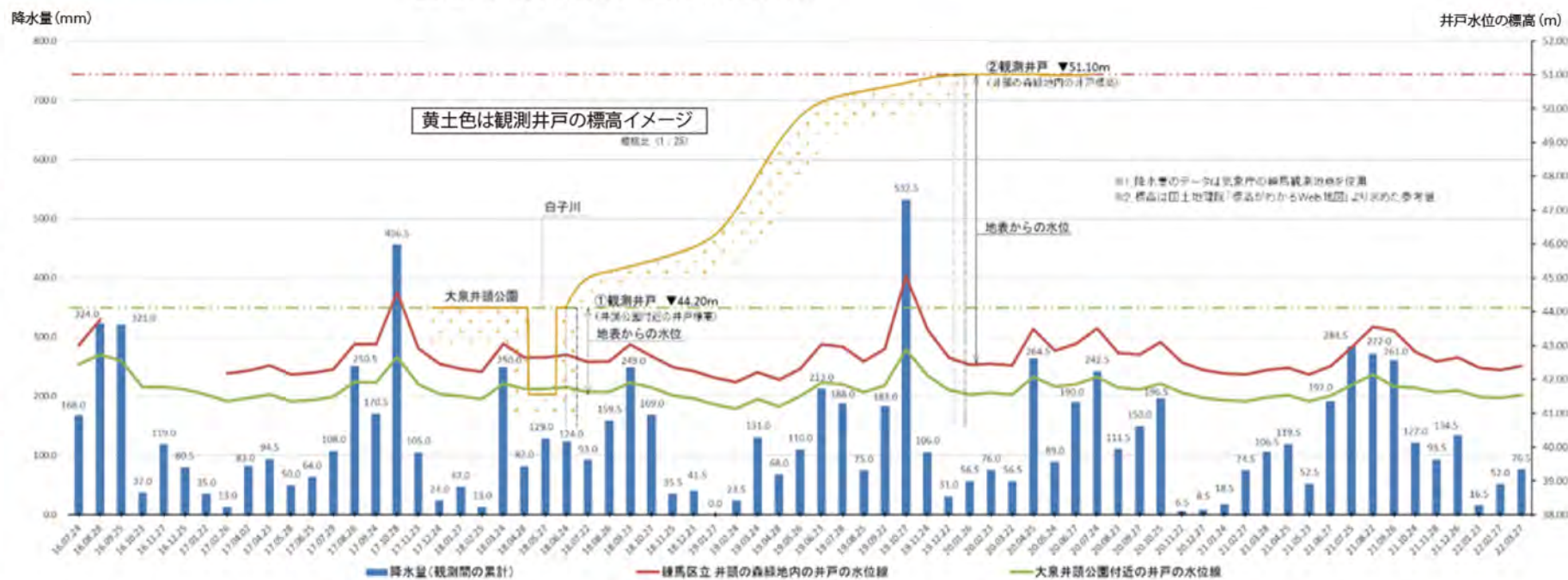


図-3 2016年7月から2022年3月までの降水量と井戸水位グラフ(練馬区立井頭の森緑地内と大泉井頭公園付近)